

つなげる力を、明日のために。トークネットのコミュニケーションマガジン「ジョイント」

Joint

vol. 22
2018 Mar.



田沢湖／秋田県

未来への挑戦 [特集インタビュー]

「演劇でつなぐ」

ひとの心を豊かにする 演劇の魅力を活かしたヒューマンビジネス
株式会社わらび座 代表取締役社長 山川龍巳氏

技をつなぐ

技術の研鑽から生まれる抜群の履き心地
機能性とデザイン性を追求した
カスタムメイドシューズを世界へ
革靴製造・販売 宮城興業様

導入事例 [新たな価値をつくるビジネス]

拠点数の増加に伴い回線見直しをすることで
通信環境が安定し、コストも削減
株式会社有沢製作所様



宮城興業のカラフルなシューズコレクションと木型サンプル。



劇団わび座「びっくり理一郎」公演より。

03

未来への挑戦「特集インタビュー」
「演劇でつなぐ」

ひとの心を豊かにする

演劇の魅力を活かしたヒューマンビジネス
株式会社わらび座代表取締役社長 山川龍巳氏

07

技をつなぐ

技術の研鑽から生まれる抜群の履き心地
機能性とデザイン性を追求した
カスタムメイドシューズを世界へ
革靴製造・販売 宮城興業様

09

地域ナビ

知りたい、伝えたい！地元の魅力
岩手編

11

導入事例

「新たな価値をつくるビジネス」
拠点数の増加に伴い回線見直しをすることで
通信環境が安定し、コストも削減
株式会社有沢製作所様

13

地域の旬情報 Joint's TOPICS

山里に受け継がれてきた貴重な文化
江戸時代の様式を守り伝える「檜枝岐歌舞伎」

14

お客さま紹介
門崎熟成肉 格之進(株式会社門崎)様
(岩手県一関市)

トークネットのナビゲータ
「トークオッカ」のモデルになった
「クオッカ」のサイトを開設しました！
読者プレゼント

Joint

CONTENTS vol.22 2018 Mar.

[表紙のイラスト]

たつこ姫伝説に彩られる「田沢湖」は、水深423.4メートルと日本一の深さ。光の角度によって湖面が翡翠色や藍色など美しく変化し、遊覧船からは湖を囲む山々の四季折々の景色が楽しめます。周囲約20キロメートルの湖畔には名所・旧跡のほか、レジャースポットも充実しています。

「Joint」バックナンバーはHPでご覧いただけます。
<http://www.tohynet.co.jp/joint/>



地域に根付いた劇団
「わらび座」の誕生

「わらび座は、1951年に『楽団つばめ』として東京で誕生しました。創設者の原太郎はもともと作曲家で、終戦から懸命に働いてきた人たちが音楽で楽しませたいと、仲間2人と立ち上げました」

そう話す社長の山川龍巳さん。山川さんは偶然にもわらび座が創立した年に誕生しました。「その後、仲間の1人が秋田県出身ということで拠点を秋田に移し、音楽と劇団の活動を始めました。その頃メンバーは9名に増えていましたが、突然大人数で押しかけたにも関わらず、地元の方々に受け入れてもらえたのですから、大変な情熱だっと思えます。当初は、田植えや稲刈りを一生懸命手伝います、と言って入ったそうです」

秋田移転を機に、劇団名を「わらび座」に改称。山菜のわらびは、かつて東北の飢えに苦しむ農民を救ったと言われています。根っこの強いわらびのように、劇団は地域に根付き地元の人たちに活力を与えてきました。

「原はよく『これからはアクセサリのような文化ではなく、

生活必需品の歌と踊りを追及していかななくてはならない』と仰っていました」と山川さん。わらび座は、創設者の思いを受け継ぎ、その土地にまつわる人のエピソードを題材とした、民話劇や歌舞劇を上演してきました。

「あきた芸術村」の魅力とは

劇団は1974年、常設型の「わらび劇場」を開館しました。その後、宿泊施設や温泉施設を開設し、中高生の体験旅行の受け入れを行うほか、地ビールの醸造・販売を手掛けるなど、多角的な経営に乗り出しました。

「今、わらび座は240名のアートカンパニーです。『あきた芸術村』として、いわゆる文化複合事業を展開していくことで、地元の人たちの雇用を生み出します。そして何より、一番大事な劇団の仕事を支えることができるのです」

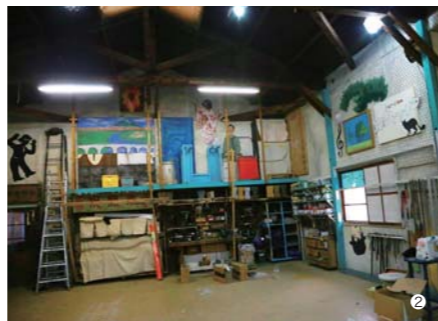
わらび座が長年続けていることとして、郷土芸能や農業体験をメニューに取り入れた修学旅行があります。

「40年前から体験に参加している学校が東京にあるんです。当時15歳の子が親になり、今はその子ども世代が参加しています。

これからは、アクセサリのような文化ではなく生活必需品の歌や踊りを追及していく。



①「わらび劇場」は710席の客席と、さらに広いステージが特徴。地域劇場としては規模が大きく、ダイナミックなステージが繰り広げられます。



②舞台のセットや背景などを製作する大道具の作業場。
③俳優が演技に使う手持ち用の小道具を製作する小道具の作業場。



ひとの心を豊かにする

演劇の魅力を活かしたヒューマンビジネス

1953年から、秋田県を拠点に歌と踊りによる演劇活動が中心の複合文化事業を展開する「株式会社わらび座」。

代表取締役社長の山川龍巳さんが次に目指すのは、演劇コンテンツをひとつづくりのヒューマンビジネス産業に成長させること。そのビジョンの構想と演劇への思いについて伺いました。



常設型の劇団専用劇場として誕生した「わらび劇場」。

「演劇でつなぐ」

株式会社わらび座 代表取締役社長 山川 龍巳氏
(やまかわ たつみ)

[プロフィール]

1951年長崎県生まれ。19歳の時、劇団わらび座に入団。役者を経験した後、わらび劇場経営監督、たざわこ芸術村営業部長などを経て、2006年から2014年まで「坊っちゃん劇場」支配人として愛媛県に赴任。2016年(株)わらび座代表取締役社長に就任。

株式会社わらび座
秋田県仙北市田沢湖卒田字早稲田 430
TEL.0187-44-3311
<http://www.warabi.gr.jp>



インタビューから考える
つなぐ思い



TOHKneta 秋田支社 武藤 彰吾

演劇への熱意と情熱が
“わらび座ビジネス”成功の理由

小学生の頃、わらび座の「鬼んこおぼこ」というミュージカル作品を観たことがあります。初めての観劇でしたので、その迫りに圧倒されたのと、演劇の舞台の臨場感が大変印象的でした。

取材時に見せていただいたミュージカル「びっくり理一郎」は、秋田の町づくりや、町同士の連携に関する話が盛り込まれ、当時の人たちがどんな思いで事を成し遂げてきたのかが伝わり、とても感動しました。

私自身は、秋田支社勤務3年目で、現在は秋田市内とその南の横手市や美郷町、仙北市を担当しています。土地のこともまだまだ勉強中ということもあり、興味深かったです。

山川社長と対談させていただき、経営者の視点と演劇の仕事への思いを間近で感じることができました。自身の営業活動でも、提供する商品やサービスに対する思いや考えを、きちんとお客さまに伝えていこう心掛けたいと思います。



②「わらび座」研究生の稽古風景。日舞の練習をしています。
③輪をふんだんに使用した「温泉ゆぼば」は、庭園を眺めながらゆっくりと疲れを癒やせます。
④田沢湖ビールは1997年に誕生した、秋田県産の地ビール第1号。田沢湖ビールレストランで味わえます。
⑤エコエコ農園のブルーベリー畑。ラズベリーの栽培も手掛けています。農園直営の加工所で作った無添加コンフィチュールは人気商品。



①仙台の電力ホールで2018年1月20日～2月9日まで上演されたミュージカル「ジパング青春記」公演の様子。

撮影：コンドウダイスケ

演劇には「ひと」を育てる力がある。

昨年、1期生たちが訪ねてきたんですが、みんな「ただいま」と懐かしんでました。子どもたちは農家の暮らしを学ぶために来るわけではなく、農家の人たちの優しさ、温かさに触れたくて会いに来るんです」と山川さん。

「農家の人たちが、どんな思いで田畑を拓き育ててきたのかを語って聞かされると、子どもたちは真剣に耳を傾けます。農家の人たちも子どもたちに語って聞かせるのが嬉しいのです」

体験旅行のカリキュラムには演劇の訓練もあります。「演劇とは、観るのはもちろんですが、相手の言葉をよく聞くことが大事なんです。訓練を通してそのことを発見し、想像する力、発想する力、共感する心を学ぶことでコミュニケーション力を養うことができます」と山川さん。

教育・医療・観光に演劇を活かす

この「教育」は、わらび座が目指すビジネスの一つの柱となつていきます。

「演劇にはひとを育てる力があると思つています。その柱となるのが、教育と医療、観光です。この3つの柱に、演劇コンテンツをヒューマンビジネス産業に

成長させていきたい」

2本目の柱の「医療」については、認知症予防や心のケアに演劇コンテンツを活用するとうものことです。「演劇を活用した治療は、実際に仙台の病院で始めています。医師によると、認知症には情動を刺激し、楽しいとか居心地が良いとか、感情を奮い立たせることが大事だということなんです。もっと演劇が活用されるような展開ができればと考えています」

3つ目の柱の「観光」は、拡大するインバウンドに目を向けたもの。「優れた文化は観光資源になります。秋田の竿灯や民俗芸能の多くは米作りの文化がベースです。その米作りを背景に伝承されてきた文化を、わらび座が物語性と娯楽性のエッセンスを加え、発信していきます」

観る人の心に響く舞台を届ける

わらび座が大切にしているのは、その土地の歴史の中で生きる人々の人生を、演劇で表現することです。近作でいえば、仙台の電力ホールで上演された、慶長遣欧使節団の一員として海を渡った一人の若者が主人公の「ジパング青春記」。慶長の大地

震に負けずに夢を掴んだ若者を通して、東北人の強さを伝える作品です。また、あきた芸術村の小劇場では、斬新なアイデアで故郷の村を救ってきた、坂本東嶽夫婦を描いた「びっくり理一郎」を上演。地元の小学校も課外授業で観劇に訪れました。わらび座には、東北以外の地域からも舞台製作の依頼があり、今後、広島や北海道にまつわる舞台も発表される予定です。

「私は大阪に本社のあるゼネコンに就職し、広島でわらび座に出会いました。就職して1年目で、とても人生に悩んでいた時期でした。そんな時、広島に

公演に来ていたわらび座の舞台を初めて観たんです。民俗芸能の作品で、なぜか涙が止まらなくて。その足で宿までついて行き、入団したいと話しました。舞台がどうかでなく、この人たちが一緒に生きていきたいと思つたのです」

山川さんは身をもって体験した演劇の持つ力について、こう語ります。「道に迷ったり、どう生きれば良いのか考えている子どもたちが、演劇を観ることで救われたら良いと思います。それは、地域を元気づけることにつながると考えています。そんなわらび座であり続けたいですね」



財布や名刺入れ、ベルトなど革製の小物も製作。ネコのキーホルダーは工場を見学に来た小学生に人気だそうです。



工場内には、様々な大きさの木型が大量にストックされています。



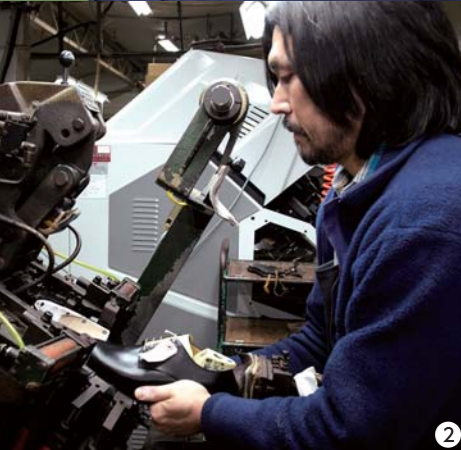
デザイン画を基にしたパターン(型紙)。CADを使って作成します。長さが25cmで同じでも、幅が大きく異なれば、まるで違った木型になります。



最新式の自動裁断機(右)のほか、手により1枚1枚裁断される皮革。部位や傷の有無を丹念にチェックして切り出します。



靴の形に合わせて革を立体的に加工①。縫製された甲革を靴型にフィットさせ②。中底と甲革の端を細革で縫い付けます③。



②



③



工程中に付いた油や汚れを落とし、クリームを付けて磨き上げます。

技術の研鑽から生まれる 抜群の履き心地 機能性とデザイン性を追求した カスタムメイドシューズを世界へ

革靴製造・販売 宮城興業 山形県南陽市

バブル崩壊を機に独自のシステムを構築
日本に洋式の靴が入ってきたのは幕末のこと。明治維新を機に

洋装が普及し、靴も徐々に浸透していきました。東北に拠点を置く靴メーカーとして、全国の靴愛好家に名を知られるのが宮城興業です。

宮城興業は1941年、重靴製造を目的に仙台市に設立され、終戦を迎える1945年に南陽市へ移転。1969年には、靴の本場であるイギリスのパーカー社と技術・販売提携するなど、技術の向上と研鑽に努め、良質な靴を作り続けてきました。現在、経営の舵を取るのは高橋和義さん。祖父から数えて4代目の社長となります。

「入社当時は、大手メーカーの靴を委託製造することを主軸にして経営も安定していました。しかし、バブルが崩壊して景気が悪化し、海外から安価な靴が流入。取引先からの仕事も激減しました。単価を下げると利益が出ないため、増収を目指すのではなく、利益が出るやり方を模索しました」と高橋社長。これを機に生まれたのが「謹製靴 オリジナルカスタムメイドシューズ(OCS)」です。OCSは男性用スーツのイージーオーダーにヒントを得たも

の。100種類以上ある足型サンプルの中から、長さや幅が合ったものを数足フィッティングし、さらに職人による微調整を行いながら仕上げていきます。デザインは

オーソドックスなものを豊富に用意し、トゥの形や革の種類・色、ソール、ヒールなどの選択が可能。オリジナルリティを追求しながらも、履き心地がよくジャストフィットする1足をリーズナブルな価格で提供できるよう工夫を凝らしました。

このシステムを、信頼の置ける靴店や服飾店と提携して販売網を構築・拡大。現在、謹製靴を取り扱う店は全国に200店舗以上になりました。

国内外で高い評価 今後は欧州市場に挑戦
革靴は200以上の工程を経て出来上がります。パターンと呼ばれる型紙を作り、型に沿ってパーツごとに革を裁断。蒸気で蒸して柔らかくした革をトゥなどに巻き付け、中底を縫い合わせた上でソールを縫い上げ、ヒールを貼り付けます。細部の形を整えたらクリムを付けて磨き上げ、最後に紐を通して完成します。多岐に及ぶ工程は分業化しており、約80名の社員が担います。そ



オリジナルカスタムメイドシューズ。豊富なバリエーションの中から、ベストなものをチョイスして自分だけの1足に仕上げます。靴底の張り替えや修理なども対応しており、長くご愛用いただけます。



履き心地のよさで人気のST.Relaxシリーズ。写真は女性用のサンプル。



「変化に対するアンテナを張り巡らし、広角的に物事を捉えることが大切」と話す高橋和義代表取締役。

に自工具を工夫するなどして励んでいます」と高橋社長。ベテランの技を間近で学びながら、若手社員への技術継承も図られているようです。事業の3本柱は、相手先ブランドの靴製造、独自ブランドのコンフォートシューズシリーズ、OCSです。OCSは、アメリカやカナダなど海外6カ国にも取扱店が誕生しており、「オーダーメイドなのにリーズナブルだと好評をいただいています。今後は、靴の本場であるヨーロッパの市場を開拓したいと考えており、戦略を練っているところです」。このシステムの良さが広く認知されれば、販路の拡大が見込め、海外で充分に戦えることにも高橋社長。今後、OCSとコンフォートシューズシリーズを両輪とした経営戦略に意欲を燃やしています。



紐の種類も豊富。最後に紐を通して靴が完成します。

真剣に作業する若手社員。靴職人を目指して全国から入社するそうです。



宮城興業株式会社
山形県南陽市宮内2200番地
TEL.0238-47-3155
FAX.0238-45-3015/3365
<https://www.miyagikogyo.co.jp/>

盛岡と一関周辺の“花見も団子も”スポットをご紹介します！



TOHKnet 岩手支社
阿部 和人

2009年入社、岩手支社勤務7年目。
主に光通信ケーブル移設工事の設計を担当。

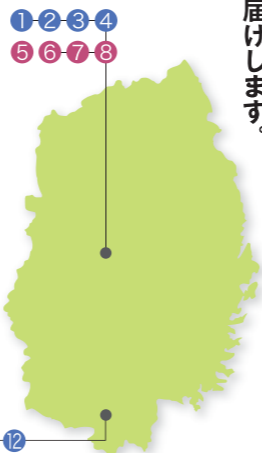
一関の観光スポットとして人気の「厳美渓」は、四季を通して味わいがありますが、桜の時期もおすすめ。渓谷沿い約2キロにわたり200本の桜が咲く景色は、ダイナミックで見応えも十分です。この厳美渓名物といえは「郭公屋」のかっこうだんご。ロープに下げられた籠に注文と代金を入れて木槌を鳴らすと、籠が引き上げられ中にだんごが入って降りてきます。

一関の酒蔵が経営する「蔵元レストラン せきのいち」は、もち料理に欠かせない一品。一関の酒蔵が経営する「蔵元レストラン せきのいち」は、もちをチーズフォンデュで楽しめ

近い場所には、市民の憩いの森として親しまれている「釣山公園」があり、約400本の桜が山を覆うように咲きます。夜はライトアップされ幻想的な雰囲気です。



一関で「もちグルメ」を満喫



- ① 厳美渓の名物『郭公だんご』。
 - ② 「三彩館ふじせい」の「元祖ひと口もち膳(雑煮付)」。
 - ③ 「蔵元レストラン せきのいち」の『もちチーズフォンデュ』。
 - ④ 「釣山公園」の桜は、4月中旬～5月上旬が見頃。
- 「郭公屋」
TEL.0191-29-2031
一関市厳美町字滝ノ上 211
9:00～16:00(売切れ次第終了)
※12～2月休み
- 「三彩館ふじせい」
TEL.0191-23-4536
一関市上大槻街 3-53
昼 11:00～14:00
夜 17:00～21:00
※月曜定休(12月のみ日曜)
- 「蔵元レストラン せきのいち」
TEL.0191-21-1144
一関市田村町 5-42
昼 11:00～14:00
夜 17:00～21:00
※火曜定休
- 「釣山公園」
TEL.0191-23-2350
(一関市観光協会)
※無休
http://www.ichitabi.jp

地元のコトは地元の人に聞くのがイチバン！
東北&新潟の魅力を社員の目線でお届けします。
今回ナビゲートするのは岩手支社の志子田有言と阿部和人。
おすすめの地元ネタとは？

vol.22 岩手編

「地域ナビ」
知りたい、伝えたい！
地元の魅力

TOHKnet 岩手支社
志子田 有言
1996年入社、技術本部、営業本部、支社などさまざまな業務を経験。
岩手支社勤務2年目。



盛岡市内でおすすめの花見スポットの一つは、「盛岡城跡公園(岩手公園)」です。石川啄木や宮沢賢治が愛した場所としても知られており、ソメイヨシノやエドヒガンザクラなど、約200本が花を咲かせます。城跡は内堀と石垣が残っているだけですが、石垣と桜のコントラストが美しく、市民の憩いの場となっています。



- ① 「盛岡城跡公園」の桜の見頃は、4月中旬～下旬。
 - ② 「高松公園」の桜の見頃は、4月中旬～下旬。
 - ③ 「お茶餅」は、くるみ醤油をからめた平たい団子。
 - ④ 「石割桜」の見頃は、4月中旬～下旬。
- 「(公財)盛岡観光コンベンション協会」
TEL.019-604-3305
http://www.odette.or.jp

※桜の写真：(公財)盛岡観光コンベンション協会

盛岡の桜を堪能する花見スポット

盛岡市内でおすすめの花見スポットの一つは、「盛岡城跡公園(岩手公園)」です。石川啄木や宮沢賢治が愛した場所としても知られており、ソメイヨシノやエドヒガンザクラなど、約200本が花を咲かせます。城跡は内堀と石垣が残っているだけですが、石垣と桜のコントラストが美しく、市民の憩いの場となっています。

盛岡地方裁判所前にある「石割桜」。周囲21メートルの岩を割って咲く樹齢約360年のエドヒガンザクラは、大正時代に国の天然記念物に指定されました。

岩手支社のメンバー

お客さまのため、一步一步地道に取り組んでいきます



岩手支社 支社長
鈴木 良憲

岩手支社は担当エリアが広く、大変な面もありますが、効率を考えながら地道に業務に励んでいます。お客さまに通信サービスをより知っていただくため、応接スペースに社員のアイデアで通信設備を備えた体験ブースも開設しました。



こちらもおすすめ

★盛岡散策 中津川・紺屋町界隈

盛岡市は街歩きもおすすめ。市街を流れる中津川に架かる「中の橋」から「上の橋」の通り、紺屋町界隈は歴史を感じるのことができる絶好の散策スポットです。ひととき目を引く赤レンガ造りの建物は、国指定重要文化財の岩手銀行(旧盛岡銀行)旧本店本館。館内は、旧国庫部の営業台や旧第一応接室などが復原工事され、2016年7月より「岩手銀行赤レンガ館」として一般公開されています。

中津川沿い、上の橋下流には盛岡市出身の画家で、一水会や女流画家協会で活躍した深沢紅子氏の作品を鑑賞できる「深沢紅子野の花美術館」があります。1階は中津川の景観が美しいカフェとショップで、2・3階が展示室。野に咲く花の力強さを、優しいタッチで表現した水彩画や、油絵が展示されている心とむ空間です。川沿いには、他にも隠れ家のような喫茶店やギャラリーがあり、散策を楽しめます。



⑤ 岩手銀行旧営業室(現在は多目的ホール)。⑥ 岩手銀行赤レンガ館。
⑦ 深沢紅子絵はがき。⑧ 深沢紅子野の花美術館。

拠点数の増加に伴い回線見直しをする一方で
通信環境が安定し、コストも削減



担当者/TOHKnet
新潟支社
中畑 将央

提案

「V-LAN」「TOCN」
「TOHKnet ServeMall」で
安定・安心の通信環境を提案。



株式会社有沢製作所様



管理本部 経営企画部
情報システムグループ
山本 俊雄様
(やまもと としお)



管理本部 経営企画部
情報システムグループ 課長代理
吉原 英宏様
(よしはら ひでひろ)



管理本部 経営企画部
情報システムグループ グループリーダー
塚田 雄一様
(つかだ ゆういち)

増える拠点間を
安定した回線でつなぎたい。

課題



有沢製作所様には、本社と各拠点工場間のネットワークに「V-LAN」、インターネット回線に「TOCN」と、トータルで提案をさせていただきました。2009年に導入いただいた後、何度かネットワークを更新され、財務会計データのバックアップとして、「TOHKnet ServeMall」も導入いただきました。

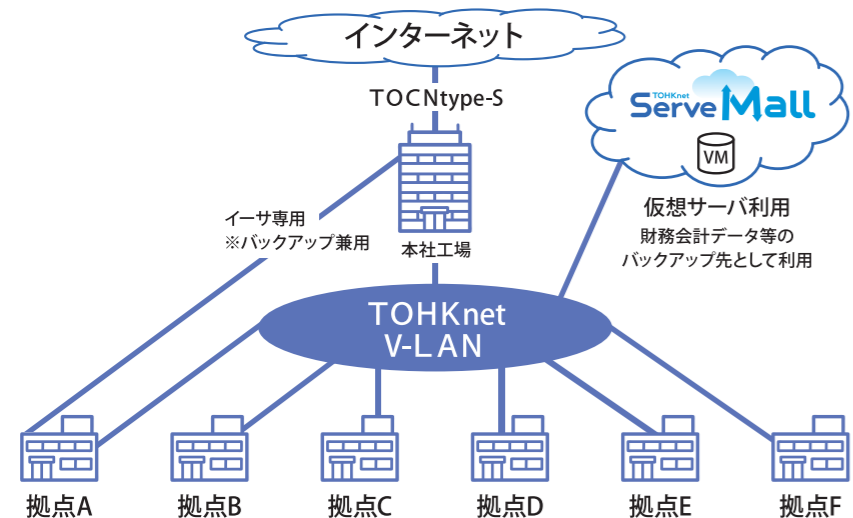
トータルでサービスをご利用いただくことで、効率良く安定した通信環境が実現し、価格も抑えることが可能となります。当時、拠点工場が増えていた頃でもありましたので、当社のトータルでの提案内容が有沢製作所様のニーズに合致し、関心を持っていただけたと認識しています。導入に際しては技術担当とともに伺い、一つひとつご説明し納得いただきながら進めていきました。その結果「TOHKnet ServeMall」をご利用いただきました。

現在、有沢製作所様はインターネット回線のマルチキャリアによる冗長化を検討されており、ニーズを踏まえたご提案をしていきたいと考えています。また、今はオンプレミス環境でシステムを構築していますが、当社データセンターのご提案をさせていただいた経緯もあります。

ネットワークとインターネット回線のトータル提案で、コスト削減と安定した通信環境へ

ンプレミスクラウドかは、比較検討されることが多いです。次のサーバ更新時など、状況を見きわめながら、ニーズに合ったご提案を行っていききたいと思っています。

「TOCN」「V-LAN」「TOHKnet ServeMall」をトータル利用したネットワーク



有沢製作所様は、経済性を重視した帯域共用型のインターネット回線「TOCN typeS」と、品質保証型の広域イーサネットサービス「V-LAN」、データのバックアップに「TOHKnet ServeMall」をご利用いただき、コスト削減につなげています。

提案のPOINT

お客さまの通信量に応じて
最適なアクセス回線を選ぶ「V-LAN」

自社保有の光ファイバー網を
最大限活用した「TOCN」

BCP対策をサポートする
「TOHKnet ServeMall」



自社サーバ室。



巨大プロジェクトにパソコンをつないで行う会議。

約10年前、使用していた回線がトラブルで停止してしまい、復旧に時間がかかったことがありました。その頃、拠点の数が増え、次々に回線を引かなければならない状況でした。ちょうどそのタイミングでTOHKnetの訪問を受けました。当時、光回線を引くためにはさまざまな制限がありました。必要に応じてすべて回線をつなぐので大丈夫です」と、提案をしてくれました。

提案の内容は拠点間ネットワークと、インターネット回線を併用することで、価格的にもコスト削減につながるというものでした。

また、サービス導入時、当社の既設ルータに技術担当の方が設定切替えのアドバイスをしてく

れて助かりました。それまで、TOHKnetとの取引はなかったのですが、若干不安でした。しかし、ワンストップ対応でレスポンスが良く、こちらの要望に親身になって応えてくれるので、安心して任せられました。当社の財務会計データなどのバックアップ先として、TOHKnetの仮想サーバも利用しています。

TOHKnetの回線導入後は、スピードが速くなり、最適化もできるようになりました。一方、速度がそれほど必要ない箇所については見直しを行うなど、きめ細かな対応をしてくれました。今後もサーバ更新など、見直しのタイミングで、いろいろと提案をお願いしたいと考えています。

Introduce * 株式会社有沢製作所



株式会社有沢製作所
新潟県上越市南本町1-5-5
TEL.025-524-5121 http://www.arisawa.co.jp

戦略の柱は、創造(creation)・革新(innovation)・挑戦(challenge)

有沢製作所は1909年(明治42)、パテンレースの製造会社として創業しました。現在、織物製造事業で培った「織る・塗る・形づくる」技術を、エレクトロニクス関連材料、オプトエレクトロニクス関連材料、電気絶縁材料、産業用構造材料など、多彩な産業分野で活かし、さまざまな新素材を開発。世界の技術革新に貢献しています。

経営理念は「創造・革新・挑戦」。世界の最先端を行く製品の研究・開発と、技術革新を目指して、常にマーケットの変化にアンテナを巡らせ、お客さまのニーズに柔軟に対応しています。



本社執務室風景。

トークネットのナビゲータ「トークオッカ」のモデルになった「クオッカ」のサイトを開設しました!



笑顔がかわいい「クオッカ」。口角が上がっているため、いつでも笑っているように見える笑顔から「世界一幸せな動物」と呼ばれています。クオッカが生息しているのは、オーストラリア南西部にあるロットネスト島という島で、豊かな植物と天敵がない環境の中で保護され、約1万匹が暮らしています。大きさは約40~50cm。ネズミよりやや大きめの体長です。カンガルーやワラビーと同じ有袋動物で、お腹の袋で子どもを育てます。また、カンガルーのように後ろ足でびよんびよん飛び跳ねるので、大きいネズミがカンガルーの真似をしているように見えます。クオッカは、「足が速い」「同じ道を歩いて通路を作る」などの特徴があります。これは、当社主力サービス「V-LAN」が目指す職場の通信環境の快適化と共通する特徴であり、イメージモデルにしました。当社ナビゲータのトークオッカは、サービスのご紹介を通して、笑顔と幸せをお届けしたいと思っています。

詳しくは、こちらをご覧ください▶<http://www.tohknet.co.jp/>



約300年前、島を訪れたオランダの探検隊が、クオッカを見て巨大なネズミだと思い、オランダ語で「ROTT」(ネズミ)と「NEST」(巣)を合わせて、ロットネスト島と呼ばれるようになりました。



読者プレゼント

「JoinT」をお読みいただきましてありがとうございます。vol.22はわらび社長の山川龍巳氏、革靴製造・販売の宮城興業様などを特集しました。今後とも皆様のご意見を参考に、よりよい誌面づくりを行ってまいりますので、ぜひアンケートにご協力ください。

アンケートにお答えいただいた方の中から、抽選で下記の賞品をプレゼントいたします。



締め切り/2018年5月31日(木)

応募方法

下記URLより「JoinT読者プレゼント」にアクセスして、アンケートにお答えの上、ご応募ください。

<https://www.tohknet.co.jp/joint/>



当選発表/厳正な抽選の上、賞品の発送をもって発表に代えさせていただきます。※プレゼント賞品は内容が変更となる場合がございます。予めご了承ください。※応募に際していただきました個人情報につきましては、本誌プレゼントの運営および「JoinT」の編集に役立てる目的にのみ使用いたします。

編集後記

当社のナビゲータ「トークオッカ」は、クオッカという動物がモデルです。口角が上がっていて、笑っているように見えるため「世界一幸せな動物」と言われています。「笑う門には福来たる」という諺もあり、笑顔は幸せをもたらすと信じて、自分も周りの人々も明るい気分になれるよう、笑顔を心掛けたいものです。

山里に受け継がれてきた貴重な文化 江戸時代の様式を守り伝える「檜枝岐歌舞伎」

地域の旬情報
JoinT's TOPICS
地域のニュース&トピックスなどの情報をお届けします。

270余年の歴史を誇る伝統芸能

尾瀬への玄関口として知られる福島県檜枝岐村。春と秋に上演される歌舞伎は全国的にも有名で、たくさんの方の観衆で賑わいます。

檜枝岐歌舞伎は、伊勢参りの際に江戸で歌舞伎を見物した村人が、見よう見まねで伝えたのが起源とされており、以来、親から子へ、子から孫へと継承されてきました。現在も、役者や裏方などすべて村民により行われており、毎年5月12日と8月18日に、鎮守神の境内にある舞台(舞殿)で神に奉納する儀式として演じられています。また、9月の第一土曜日も「歌舞伎の夕べ」と題して披露されています。

幕が開くのは夕方。江戸の昔そのままの歌舞伎や浄瑠璃が息づく舞台はいにしへの趣が深い、夕暮れから移り変わる周囲の景観と相まって、独特の風情を醸し出します。



演じる一座は「千葉之家花駒座(ちのやのはなごまざ)」。座員は裏方なども含め30名ほど。11演目が伝承されており、大半は武将が登場する時代物です(上)。大道具や小道具、衣装に化粧など、すべて村民が手掛けます(下)。

檜枝岐歌舞伎

愛宕神祭礼奉納歌舞伎

- ◆開催日時/5月12日(土)19:00開演
- ◆開催場所/鎮守神境内
- ◆料 金/無料

鎮守神祭礼奉納歌舞伎

- ◆開催日時/8月18日(土)19:00開演
- ◆開催場所/鎮守神境内
- ◆料 金/無料

歌舞伎の夕べ

- ◆開催日時/9月1日(土)19:00開演
- ◆開催場所/鎮守神境内
- ◆料 金/1,000円(村内宿泊者は無料)

※雨天の場合も激しい雨以外はそのまま上演します。席は先着順で自由にお座りください。入場は開演時刻の1時間前となり、開演前の席の確保はできません。写真撮影は他のお客様の迷惑にならないよう、ご協力をお願いいたします。また、ビデオカメラや携帯電話での撮影はご遠慮願います。※演目に変更する場合がございます。

■お問い合わせ
尾瀬檜枝岐温泉観光協会
福島県南会津郡檜枝岐村字見通1155-1
TEL.0241-75-2432 <http://www.oze-info.jp/>



門崎熟成肉 格之進



- 格之進オンラインストア <http://kakunoshin.in/store/>
- 格之進TSB <http://kakunoshin.in/restaurant/kakunoshin-tsb.html>
- 格之進肉学校 六本木分校 <http://kakunoshin.in/restaurant/kakunoshin-b.html>
- 格之進82 <http://kakunoshin.in/restaurant/kakunoshin-82.html>
- 格之進R+ <http://kakunoshin.in/restaurant/kakunoshin-r-plus.html>

TOHKnetのサービスをご利用いただいているユーザー企業さまをご紹介します。

肉本来の美味しさを引き出し最高のサービスで提供 門崎熟成肉 格之進様 (株式会社 門崎)

門崎は、「二関と東京を食で繋ぐ」ことをビジョンに掲げ、岩手県一関市で「焼肉屋 五代格之進」を1999年に創業。その後、2008年に株式会社を創設し、熟成肉にこだわった飲食店を東京と岩手で次々に展開しています。オンラインストアでは、岩手県の食材を中心とした「ハンバーグ、メンチカツ」、格之進独自の熟成方法で旨みを凝縮させた「門崎熟成肉」、ギフトにも最適な「お肉のセット」を取り扱っており、こだわりの肉を自宅でも楽しめると好評を得ています。

最近では、精肉を提供する「格之進B」、熟成肉割烹の「格之進82」、欧風焼肉の「格之進R+」からなる「格之進肉学校 六本木分校」を昨年11月にオープン。さらに、12月には岩手の食材を詰め込んだお弁当を提供する店舗「格之進TSB」を東京駅構内にオープンするなど、熟成肉の魅力幅広く発信しています。

株式会社門崎 岩手県一関市川崎町門崎字宮畑5 TEL.0191-43-4029 <http://kakunoshin.in/>

お客さま紹介

IT INFORMATION

～IT分野の旬な情報をお届けします～

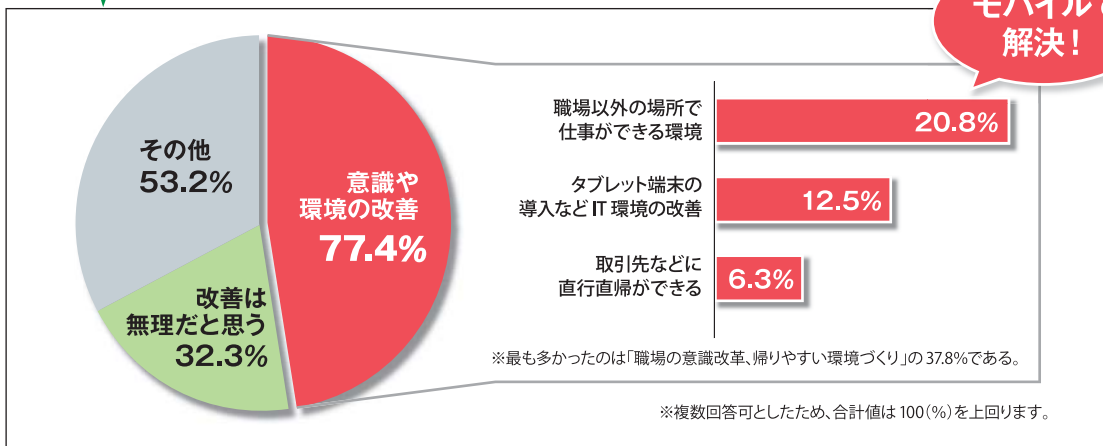
東北6県と
新潟県の

ベテランビジネスマン109人に聞きました！ 減らしたい残業…どうすれば？

多くのビジネスマンを悩ませる「残業」。東北と新潟で働くベテランビジネスマンに、
残業改善についてのアンケートを行ないました。

- ◎調査期間：2018年1月19日～1月20日 ◎調査方法：インターネット調査
- ◎対象：東北6県・新潟県で働く35歳～60歳男性 ◎有効回答数：109名

Q. あなたの職場の残業改善に、必要だと思うものは？



圧倒的な上位は「意識や環境の改善」。移動する時間を効率よく活用する、会社に戻らず、別の場所で仕事をする…といった、時間や場所にとらわれない働き方が必要と感じているようです。

これらの課題は、モバイルの活用で、残業時間を減らせる可能性があります。



職場以外の場所でも効率よく働くことができれば、
帰りやすい環境づくりになりそうだ。



ノートパソコンやスマートフォンで、会社の外でも社内と
同様に働けるような環境をつくる方法はないだろうか…？



社外のタブレットやスマートフォン、
パソコンから安全に社内のネットワークへアクセス！
課題を解決するソリューションをご紹介します。

詳しくはWebでチェック！

- ソリューションの紹介
- 全てのアンケート結果をダウンロード資料をご用意

東北電力グループサイト

www.tohoku-epco.co.jp/group/jt22



「トークネットジョイント」で検索

トークネットジョイント

検索



モバイル



トークネット
TOHKnet
つなげる力を、明日のために。